

「相沢日記」が語る

「昭和の橋本Ⅱ」 — 軍都計画と第二次大戦との間 —

旧相原村の地主で村長を務めた相沢菊太郎は、明治から昭和までの78年間、日々の出来事を日記に書き続けました。

本講座は、昨年度の歴史講座の第2弾です。「相沢日記」を更に読み解き、戦前の軍都計画を中心に橋本の昭和史を学ぶ講座です。どうぞお楽しみに!!

*「相沢日記」は橋本の歴史を学ぶためには欠かせない貴重な歴史資料で、市指定有形文化財です。

- 講 師 乾 照夫氏（元東京情報大学教授・文学博士）
- 日 時 9月13日(日) 午後2時～午後4時30分（受付 午後1時30分～）
- 場 所 橋本公民館 大会議室
- 対 象 どなたでも（保育はありません）
- 定 員 80人
- 参加費 無料
- 主 催 橋本公民館
- 協 力 橋本の歴史を知る会
- 申込み 8月25日(火) 午前10時 ～ 9月12日(土) 午後5時
公民館の窓口へ直接、または電話でお申し込みください。（先着順）